国立病院機構 大阪医療センターリボンズハウス 2016年度活動報告

（期間:2016年1月～2016年12月）

1. 施設名称:国立病院機構 大阪医療センターリボンズハウス

住所:大阪府大阪市中央区法円坂2－1－14

【特記すべき活動内容】 患者情報室（病気の先輩の体験談、病気に関する本・資料・インターネットを通して、病気について「生きた情報」を知る、読む、見る、学ぶ広場）に「がんに特化したリボンズハウス」を併設、ボランティアが支援しています。

2. 具体的な活動

	項 目	テーマや実施内容など	時期・対象
1	地域の方向けイベント・セミナー	◇音楽コンサート(3 回) 1)サマーコンサート(参加 110 人) 2)オータムコンサート(府医フィルハーモニー、参加 166 人) 3) Xmas コンサート(参加 90 人)	1)2016 年 7 月 12 日(火) 2)2016 年 11 月 19 日(土) 3)2016 年 12 月 13 日(火) ・対象:患者・家族・一般
		◇おおさか健康セミナー	・年 4 回実施 （4 月・7 月・10 月・1 月） ・対象:患者・家族・一般
2	患者・家族との交流会、定期的集い	1)リボンズハウス勉強会 2)患者サロン「女性がん患者の会 ハーブ」 3)タオル帽子作り体験教室 4)布ぞうり作り体験教室	1)毎月 3 回～4 回実施 ・対象:患者・家族 2)3)4):毎月 1 回実施 ・対象:患者・家族
3	PR 活動 募金活動 その他	・「RIBBONS-HOUSE」テーマ別情報(がん治療と生活を繋ぐ)発信。 ・大阪医療センターリボンズハウス、ホームページの更新。	・通年 ・患者・家族・一般

	項 目	テーマや実施内容など	時期・対象
3	PR 活動 募金活動 その他	・募金箱設置、大阪医療センターオリジナルグッズ販売、リボンズハウスグッズ販売など）	・通年 ・患者・家族・一般

3. 最もやってよかった活動とその理由 ： 患者・家族との交流会、定期的集い。特に「患者サロン、タオル帽子・布ぞうり作り体験教室」にみる、患者さん・ご家族の、一時でも病気を忘れ、おしゃべりや明るい笑顔になって、楽しさを共有し、次また会えることが心の支えにもなっているように感じます。

4. 課題 ： リボンズハウス（患者情報室との併設）の利用者が年々減少傾向にある。

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
利用者数	7839 人	7377 人	6486 人	5712 人
差異	―	△462 人	△891 人	△774 人

【その理由】:病院の患者数に左右されるが、特に通院患者、ご家族の利用が激減。その要因にインターネットの普及拡大があります。病院に出向く必要が無く、自宅は勿論のこと、何処ででも容易に最新医療情報が得られるようになった。

【その対策】:①近隣地域との定期的交流（イベント開催や、勉強会など）の充実と拡大を図り、リピーターを増やす。 ②利用者アンケートを取り、利用者ニーズを掴み、一層の知名度向上と利用者の減少に歯止めが掛けられるよう努める。

5. 今後やりたい活動 ： 設立趣旨である、多くの患者さんに「がん治療と生活」をつなぐ情報提供に今後も取り組みます。また、『がん支えあいの日』を記念したイベントは継続して行っていく予定です。第6回・記念イベント「支えあいの輪～がんとお金と仕事と私～」は就労支援がテーマ、2017年3月18日（土）開催を予定しています。